

本フォーラムは文化庁地域の文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業の一環で実施するものです。

## 塩業文化フォーラム

# 塩と生活

かつて、宇多津町は「塩のまち」として、名を馳せていたことをご存知ですか？ 海岸線には途切れることなく塩田が築かれ、町民の三分の二が塩業関連の仕事に就いていました。農家など他の産業の人々も関わりが深く、まさに地域総出の塩作り。その活力は、お祭りのような催しに今も受け継がれています。

とき 平成24年  
3月4日(日)  
13時30分から17時

ところ  
宇多津町保健センター 4階会議室  
宇多津町1881番地 <http://town.utazu.kagawa.jp/sisetsu/shisetsu/>

当日は宇多津駅より無料シャトルバスが運行します。お車でのご来場はご遠慮ください

主催  
宇多津町 宇多津町教育委員会 ランドブレイン株式会社

### プログラム

- ① 宇多津の塩田・塩業を背景にした生活文化の紹介  
塩業作業の様子、浜ひき唄、地域の生活、関連する産業、今も残る塩田の名残について紹介
- ② トークセッション  
第一部  
塩田・塩業を背景とした生活文化を後世につたえる、かつての塩業者や専門家によるトークセッション  
第二部  
塩田・塩業の歴史を活用した地域振興を考える行政や専門家によるトークセッション

### 登壇者

宇多津町元塩業者、塩田・塩業文化振興の関係者  
全国で塩田・塩業の研究や文化振興に取り組む方々

トークセッションコーディネータ  
枝川 明敬 えだがわあきとし

東京芸術大学音楽学部 教授 工学博士(名古屋大学)、経済学修士(筑波大学)。  
名古屋大学卒業。文部省、文化庁を経て、1995年埼玉大学大学院助教授。2004より現職。  
主な著書に『文化芸術の経営・政策論』『名大講義録 ベンチャービジネス論』『新時代の文化振興論』  
『技術経営プログラム等開発事業 ビジネスプラン(第2版)』など。



入浜式塩田での作業の様子(昭和30年頃)